

大学を卒業したら社会人

§ 1. 4年後は学士号をもった社会人

大学を卒業すると社会に出ていくことになります。大学院に行きたいと思っている人もいるかもしれませんが、大学院生も社会人の一員とみなされます。大学は専門知識や専門技術を習得してその道の「プロ」への第一歩を踏み出す場です。それと同時に社会人としての「豊かな教養」「社会的基礎力」「汎用的能力」を身につける場でもあります。

専門知識や技術だけでなく社会人としての素養を身につけましょう。

§ 2. 「豊かな教養」

大学では、専門教育とともに教養教育（共通教育）を受講しなければなりません。教養教育では、文化、社会、自然、語学、情報、保健体育等の広い分野にまたがる様々な講義が開講されています。自分の専門分野だけでなく、広い視野と好奇心をもって受講科目を選び、深い教養、生きる力、問題を解決する力を養ってください。

広い視野と好奇心をもって知らない分野を学びましょう。

§ 3. 「社会的基礎力」

ここでいう社会的基礎力とは、職場や地域社会の中で多様な人々と共にお互いに助け合ってより良く生きていく上で必要な基礎的能力のことです。社会人としてのマナー、組織の中で行動する能力、自分を実現するための能力、他者を生かす能力など、講義だけでは身につくものではないので、自ら意識した努力が必要です。

今自分が所属しているコミュニティでできる事からはじめよう。

§ 4. 「汎用的能力」

専門分野に限らず、誰もが身につけたほうがよい能力のことです。「論理的に物事を考え表現する」「問題を発見して解決の道筋を見つける」「日本語や外国語での確にコミュニ

ケーションをする」「様々な現象を定量的に分析・理解・表現する」「多様な情報を文献やコンピューターなどを用いて収集・分析・判断する」といった能力はぜひ大学で身につけましょう。

授業や実習で汎用的能力を磨くことを意識しながら学修しましょう。

§ 5. 自分自身を知る

大学の4年間は、年齢的にも教育環境においても最も自由に「自分探し」ができる期間です。また大学時代は精神と知性が大きく成長して人間として完成に向かう時期ともいえます。今の皆さんは自分で考え努力して学んだ分だけ確実に成長します。たくさん本を読む、多くの人と話す、授業以外の課外活動や地域の活動に参加するなど、自分の知性を刺激して、自分自身について考えてみましょう。

思い切って新しいことに挑戦し自分の可能性を探りましょう。

§ 6. 自分の将来を具体的に想像する

大学を卒業すると大半の学生は企業に就職するか自営業につきます。4年はあっという間に過ぎていきます。どの分野で何をやりたいのかを明確にしておかないと就職活動で苦労をします。自分自身を知り自分の気持ちを整理する事も大事ですが、加えて自分が将来活躍したい分野を具体的に知り、その経済社会的仕組みと現状を知っておくことも大事です。

今日から新聞やニュース等を通して社会の現状を知りましょう。

§ 7. 大学生活を充実させる

大学生活は高校以前とは全く違います。勉強の方法も違います。履修する科目を自分で選択することができるし、先輩後輩が同席して学び、授業ごとに異なる人たちで講義や実習を受けることもあります。一人暮らしを始めた人もいるでしょう。アルバイト、サークル活動、ボランティア、留学など学外での活動の場も格段に広がります。ぜひ充実した4年間を送ってください。その中で悩みや相談が生じたときには支援する制度があります。